

## 令和7年度 第1回 第二明星学園地域連携推進会議 議事録

1 日 時 令和7年12月17日（水） 午後1時30分から

2 場 所 飯田市駄科2250 「明星学園 会議室」

3 構成員の出席状況

- ・地域の関係者 1名
- ・利用者 1名
- ・利用者家族 1名
- ・福祉知見者 1名
- ・市町村担当者 1名

以上5名全員出席

・事務局

明星学園職員6名出席

4 会議内容

(1) 施設見学 13:30～14:10

- ①園長あいさつ
- ②施設見学
- ③施設利用者の生活の様子（スライド視聴）
- ④自己紹介および施設見学の感想

(2) 地域連携推進会議 14:10～15:00

- ①開会
- ②障がい者の全体的状況等の説明
- ③明星学園の支援内容の説明
- ④質疑・応答
- ⑤閉会

5 施設見学の感想

事務局の進行により、自己紹介および地域連携推進会議の直前に行なった施設見学の感想を構成員一人ひとりにお聞きし、意見等を述べて頂いた。

#### <家族>

- ・息子が小さい頃からお世話になっています。昔は家に帰省して学園に帰ってきてもなかなか車から降りなかったけれども、最近はずぐ降りて走って建物の中に行ってしまう。そのくらい暮らしやすいのだろうと思っています。  
定期的にビデオ通話なんかもしていただいて、安心しています。

#### <市町村担当者>

- ・その方の生活スタイルに合った支援、またその方の意思決定の大切さを改めて感じました。前回見せて頂いた居住棟とはまた違った自立度の高い方々の居住棟で居室のレイアウトも違って改めて勉強になりました。

#### <福祉知見者>

- ・こういった施設での食事の提供となると、栄養面重視となりがちなのですが、こちらはもちろん栄養面も気にされているとは思いますが、食の本来の楽しみとといいますか、自分で食べたいものを選ぶという支援をされているというのが凄く印象深かったです。  
前から明星さんの利用者さんたちは素敵だなと思っていたのですが、すごく豊かな生活をしているというのが背景にあるのだなと改めて思いました。

#### <地域関係者>

- ・こういった施設を見るのは初めてでした。  
私はコロナに感染したときに、ずっと閉じ込められていたというか閉じこもっていたと言いますか、ここの利用者さんたちはそれに近い感じなのかなと少し思っていた部分がありましたが、自由な感じでびっくりしました。

#### <利用者>

- ※ 一言話すのは、嫌のサインが出たため、飛ばすことにした。

## 6 質疑・応答（地域連携推進会議）

事務局より、先ほどの施設職員からの福祉関係の説明やそのこと以外

のことも、どんなことでもよいので質問や意見を述べてほしい旨をお伝えし、質問・意見等を述べて頂いた。

#### <地域関係者>

- ・一人一人の希望を聞くと言うのは非常に大変だと思いました。これだけの支援をしていると職員のみなさんストレスが溜まるだろうし大変なことだと思います。

一般の学校でも、ここで実践されている支援をしてあげれば、失礼かもしれませんが、こちらに入所される人も少なくなるのかなと思って説明を聞いていました。

A. 仰るとおり、ストレスが無いとは言えません。

これが私たちの仕事だということでやっています。

#### <福祉知見者>

- ・どういう関りをもって、利用者さんの気持ちを引き出すというか、その気持ちにヒットさせるかというのが非常に難しい部分で、説明を聞いて気持ちの伝え方がすごく問われるのだなと思いました。私も相談の仕事をやっているわけですが、私自身が思っているところに上手に持って行ってしまう場面がやはりあると思うのですね。自分の軸ではなく、相手の方がどんな人生を生きてきたのか、どんな感じ方をしてきたのかを、しっかり丁寧に想像力を豊かにして仮説を立てて考えていくような相談ができれば良いと改めて思いまして、とても参考になりました。

#### <市町村担当者>

- ・実際の事例を基に説明をして頂き、改めて勉強させていただきましたが特性に合った支援だけでなく、心に寄り添った支援が印象的でして、その方の課題行動に対してどうやって向き合っていくのかをしっかりと考え、生活の中で楽しみを保障しながら、その方の生活を豊かにしていくというのがとても分かりやすい事例で、その方が豊かに暮らしていくために、こういった職員さんの接し方というものがあるのだと知りました。ありがとうございました。

#### <家族>

- ・私の息子がお世話になっている施設ですけれども、こういった施設があるのだという事をありがたく思っています。

#### <福祉知見者>

- Q. 支援現場の職員のことになりますが、ストレスであったり気持ちの浮き沈みであったり、ご本人の家庭状況であったり、場合によってはその日は支援ができないとか、特定の利用者さんと向き合えないとか、そういう相談をされることはありますか。
- A. (職員1) 実際、利用者さんに向き合えない職員もいます。私もそうですが、自分自身の状態によっては向き合えないことはあります。クラス内で上司に相談できる体制や園長に相談に行ける体制もあります。また、しばらく机上業務をやってもらったりして、一旦その場を離れてもらって心の整理をしてもらう。園長との面談の機会があるので、そこで相談に乗ってもらうなどの話せる環境はあると思います。
- A. (職員2) 一昔前の気合いだとか、こういうものだとかの一言で乗り切るとするのは難しく、私も立場で相談に乗るのですが、なかなか相談の乗り方が難しい。これも時代なのか職員の方から全部を打ち明けてくれないと、なかなかこちらから踏み込んで聞けないというもどかしい時があるのですが、悩んでおられる職員に休んでももらったり、働き方を変える相談をしたりと柔軟には対応しています。

#### <家族>

- ・幸せの国ランキングで、日本は55位、先進国の中で最下位、その理由の一つに、こういう施設を造るといって反対運動がある、電車の中で子供が泣くと嫌な顔をするというのが日本人は多いらしい。
- Q. という前置きをしまして、地域の関係者さんへ質問しますが、この明星学園がこの地元に立っていることで、何かご迷惑をお掛けしていますかね？
- A. (地域関係者) いえ、特にはないです。地元の他の方からも特に明星学園のことについて聞いたことは無いので大丈夫だと思います。

#### <利用者>

- ※ すでに途中退席されている。

#### 7 <閉会>

事務局より、その他の質問・意見等を求めたが、特に意見等は出なかったので15:15に閉会した。